

スマイルカフェのお知らせ

9月7日(土)にスマイルカフェを開催いたしました。今回は、言語療法士が「自宅で出来る“食べる”・“しゃべる”のトレーニング」のテーマで飲み込みや発声のメカニズムのお話や、口周りの筋力を鍛えるさまざまトレーニングをお伝えしました。
 今後も、様々な職種がそれぞれの専門的な立場からお話しさせていただき、地域の皆さまの健康増進に寄与できればと考えております。

スマイルカフェ 会場：札幌西円山病院 喫茶室（札幌市中央区円山西町4丁目7番25号）
 認知症の方とその家族のための喫茶室 時間：13:30～16:00 参加費：100円

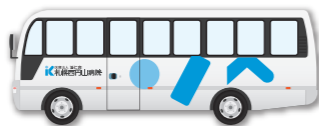
| 通算回 | 日時 | テーマ |
|------|-----------|--------------------|
| 第56回 | 11月23日(土) | 認知症の方の生活支援について～睡眠～ |

SAPPORO
札幌市認知症カフェ認定

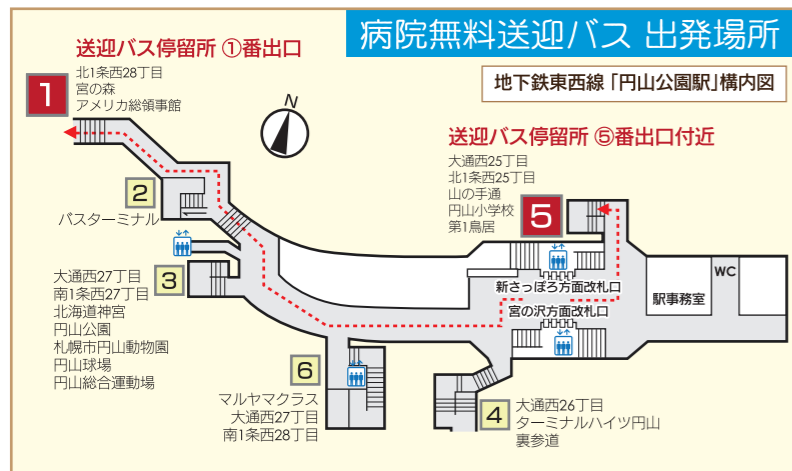
お問い合わせ先

電話：011-642-4121(代表) 担当：企画課 稲垣、佐藤
 メール：inagaki-chi@keijinkai.or.jp

無料送迎 バスのご案内



●地下鉄東西線「円山公園駅」より無料送迎バスを運行しておりますので、ご利用ください。(約10分)



無料送迎バスは②番出口バスターミナルからは乗車できませんので、ご注意ください。
 時刻表 ※のバスは、地下鉄円山公園駅⑤番出口発。その他はすべて①番出口となります。
 時刻表 ★のバスは、土日祝祭日は運休となります。

バス時刻表 2017.11.1 改定

| 時 | 病院発 | 地下鉄「円山公園駅」発 |
|----|--------|-------------|
| 8 | — | ★40 55 |
| 9 | 15 55 | 35 |
| 10 | 50 | 15 |
| 11 | 30 | 10 50 |
| 12 | 10 50 | — |
| 13 | ★30 | 10 |
| 14 | 10 | 30 |
| 15 | 00 40 | ※20 |
| 16 | 20 | ※00 ※40 |
| 17 | ★25 30 | ※45 |
| 18 | 00 30 | ※15 ※45 |
| 19 | 00 30 | ※15 ※45 |
| 20 | 05 45 | ※30 |
| 21 | 25 45 | — |

①番出口発車
⑤番出口付近発車

編集後記

残暑も去り、次第に冷たい風が吹く季節になりましたね。衣替えやタイヤ交換、暖房機器の準備等に忙しくなりそうですが、皆様はもう冬支度はお済みでしょうか？忘年会等、イベントの多くなる時期ですが、よく食べよく寝て、体調管理に気を付けながら、これからやってくる厳しい冬を乗り切りましょう！

「にしまるやま通信」についてのお問い合わせ先

医療法人 溪仁会
札幌西円山病院 地域連携推進室 TEL：(011)644-1380 FAX：(011)642-4347
 〒064-8557 札幌市中央区円山西町4丁目7-25 札幌西円山病院 地域連携推進室内 広報誌「にしまるやま通信」編集事務局

冬の足音が
きこえてきました

No.119

ご自由にお持ちください

発行日：2019.11.1

にしまるやま通信

季節の写真リレー



特集 コミュニケーションの難しさ

- ・にしまるやま探検部 第3回
- ・「札幌西円山病院祭」が開催されました
- ・スマイルカフェのお知らせ ・無料送迎バスのご案内

病院のご案内

札幌西円山病院
 診療科目／内科、神経内科、リハビリテーション科、循環器内科、歯科
 病床数／603床(障害者施設等一般病棟、医療療養病棟、回復期リハビリテーション病棟)
 札幌西円山病院 介護医療院
 入所定員／60名(3人床：19部屋、個室：3部屋)

コミュニケーションの難しさ

前回、前々回と病院の機能についてのお話しでしたが、筆者は相談援助職として勤務していることもあり、今回はコミュニケーションについてお話ししたいと思います。

コミュニケーションとは広辞苑によると「社会生活を営む人間が互いに感情、思考を伝達し合う事。言語・文字・身振りなどを媒介として行われる。」とされています。皆さまは生活を送る上で、無意識に行っているものと思います。その中で日々喜怒哀楽を感じられているのではないのでしょうか？

コミュニケーションの種類は言語的、非言語的と2種類に分かれており(表1)、一般的には他人から受取る情報の6~9割が非言語的内容と言われているようです。

最近は電話のみならず、EメールやSNSなど音声ではなく、文字や絵文字によるコミュニケーション(言語的コミュニケーション)が増えているのではないのでしょうか？さまざまな技術の革新・向上により、以前と比べれば、対面でのコミュニケーションの機会は減少していると言えるでしょう。筆者は基本的には対面でのコミュニケーションを意識しており、非言語的コミュニケーションを重視しています。

私は、ろうあのお患者さまを担当させていただく機会を得たことがあり、その際は音声以外でのコミュニケーションや、手話通訳を介してやり取りをさせていただく経験をさせていただきました。当たり前かもしれませんが、相手の心情や背景を考慮し、伝わりやすい言葉を選択してコミュニケーションを試みたことを覚えています。改めてコミュニケーションの難しさを実感させられました。

家庭・学校・会社など社会生活を営んでいく上では、対面でのコミュニケーションの機会は必須です。誰もが心地よく過ごせるよう、まずは相手を配慮したコミュニケーションを意識することが必要かもしれません。



表1

| | |
|---------------|--|
| 言語的コミュニケーション | 話す言葉の内容、手話、筆談 など |
| 非言語的コミュニケーション | 身振り、手振り、体の姿勢、表情、姿勢、相手との距離、服装、髪型、声のトーンや声質など |

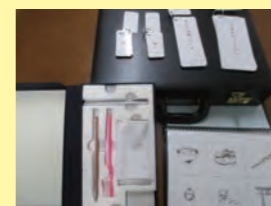
発見！ にしまるやま探検部 第3回

にしまるやま探検部第3回目は言語聴覚士がリハビリを行う言語療法室についてご紹介します。言語療法は遮蔽等に配慮した専用の個室で、院内に12部屋設置されており、おもに下記二点についてリハビリを行っています。



◎コミュニケーション障害のリハビリ

「言葉を上手く話せない」「声が出しにくい」などの症状がある方へ、対処法を見出すため検査・評価を実施し、必要に応じて訓練、指導、助言、その他の援助を行います。



標準失語症検査 (言葉の検査)



絵カード (言語訓練の教材)



鼻息鏡/ノーズクリップ (声の検査)

◎嚥下(飲み込み)障害のリハビリ

「食事でムセる」「食物がノドに残る」などの症状がある方へ、食事を安全に行なうための評価・治療を行っています。

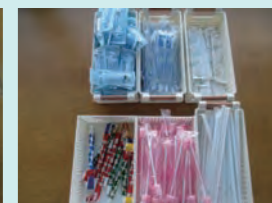
*食物を用いたリハビリは病室で行います。



健口くん (口腔機能測定)



舌圧測定器(舌の運動機能)、ネプライザー(不顕性誤嚥のテスト)、ピークフローメータ(咳の力を測定)



嚥下評価や訓練教材

「札幌西円山病院祭」が開催されました！

2019年9月1日(日)に札幌西円山病院祭を開催致しました。

昨年は地震の影響により実施できませんでしたが、今年は天候にも恵まれ、屋上では屋台、当院ボランティアグループ「銀の舟」が中心となるリサイクル販売を運営致しました。

病院内ではボランティア活動で患者さんが作成した陶芸、書道、生け花の作品展示、看護部によるアロマハンドトリートメント、リハビリテーション部によるリハビリ健診、感染防止対策室による手洗いチェックなどを行いました。またフルート演奏や院長バンドによる演奏、よさこいチームの演舞など病棟を回り、病棟外への移動が難しい患者さんも表情良く楽しまれていらっしゃる様子でした。昨年実施できなかった分、今年はより力を入れて実施できたと思います。来年もより皆さまにお楽しみいただけるよう頑張りますので、今後とも宜しくお願い致します。



リサイクル販売



よさこい演舞



院長バンド

